

事業内容	実施目標（指標）	実施状況（9月末現在）
【基本目標1】医療や介護が必要になっても、可能な限り在宅で生活できる体制づくり		
1 医療・介護の連携強化 (1)在宅医療・介護連携推進事業の推進	丸亀市在宅医療介護連携支援センターによる医療・介護連携に関する相談支援の推進 医療介護連携クラウドシステム（まんでネット）の活用推進（まんでネットの部屋の開設数：310部屋） 医療・介護関係者への研修の充実と市民への普及啓発（多職種研修会の実施：8回）	丸亀市医師会、綾歌地区医師会内に在宅医療介護連携支援センターを設置し推進 システム登録数：ID登録者数 新規 15人 延 666人 まんでネットの部屋の開設数 新規 5人 延 247人 多職種研修会の実施：2回、市民公開講座：1回、地域への出前講座：0回、
【基本目標2】支援を要する高齢者を支える体制づくり		
1 要支援者や一人暮らし高齢者等を支えるサービスの充実 (1)介護予防・生活支援サービス事業の充実	緩和基準型の訪問サービスの充実と利用促進（サービス利用者：40人）	登録9人うち9人利用中（シルバー人材センター）
2 高齢者を支える地域の体制づくり (1)地域の支え合いづくり (2)地域のネットワークづくり (3)地域ケア会議の推進 (4)高齢者の移動支援	生活支援体制整備事業の推進（生活支援CD：8人、協議体：13ヶ所、助け合い事業実施：8ヶ所） 地域関係者とのネットワークの強化及び見守り体制の充実 地域ケア会議の推進（個別会議：18回、その他会議：3回） 高齢者の移動手段確保事業の実施（8コミュニティ）	9か所で話し合い活動メンバーによる話し合いの場を開催。連絡会を開催し、新たなコーディネーターや協議体の設置に向けて協議していく ランチ連絡会の開催：3回 個別会議（自立支援型）：6事例3回（困難事例）：3事例3回 高齢者の移動手段確保事業：7コミュニティで実施
【基本目標3】認知症の人が自分らしく生活できる地域づくり		
1 認知症施策の推進 (1)認知症に関する普及・啓発の推進 (2)早期に対応・支援できる体制づくり (3)認知症高齢者・家族への支援体制の整備 (4)認知症の人々を支える地域づくり	認知症に関する各種講座の実施（小学校：15校、中学校：5校） 認知症の早期発見・対応への取組み強化（認知症初期集中支援チーム対応件数：45件） 認知症の家族を支援する体制整備（介護支援講座：6回） 認知症の人やその家族が集える場所づくり（認知症カフェ：15ヶ所） 認知症サポーター養成の推進（認知症サポーター数（累計）：16,000人） シルバー交番員（上級サポーター）の養成と活動体制の構築 認知症SOSネットワークの推進	キッズサポーター養成講座：5校（260人） ジュニアサポーター養成講座2校（386人） 初期集中対応件数：26件 認知症の人を介護する家族のための講座：3回（参加者：39人） にじいろカフェ：15か所（38回開催 参加者：386人）※令和4年8月末現在 認知症サポーター数（累計）：16,167人 活動の手引きの作成による活動体制の構築 認知症等見守り・SOSネットワーク会議の開催：0回
2 権利擁護の推進 (1)権利擁護の地域連携ネットワークの構築 (2)成年後見の担い手の確保 (4)高齢者虐待の防止	相談体制の強化、中核機関を中心とした地域連携ネットワークの構築（受任調整件数10件） 市民後見人の活動支援（市民後見人候補者数：25人、市民後見人：8人） 市民・事業所等への啓発の推進（研修会：3回）	受任調整件数 4件 市民後見人候補者数：29人 市民後見人：4人 高齢者虐待防止等実務者会議の開催：1回
【基本目標4】地域づくりと連携した介護予防・健康づくりの推進		
1 介護予防・健康づくりの充実 (1)一般介護予防事業の充実 (2)住民主体の通い場の充実	介護予防についての普及啓発（運動教室開催回数：400回） 介護予防と居場所づくりの推進（長生き体操実施場所：75ヶ所）	市内3センター及び各コミュニティ等21ヶ所で162回実施。 高齢者や介護者等に健診等の情報提供、出前講座での周知及びケーブルテレビ放映において健康課情報を掲載・オリジナル体操を公式YouTubeに公開中 いきいき健口教室：マルタスで夏コース6回実施。出張健口講座：1回 市内45ヶ所/65ヶ所中の地域の身近な場所での居場所づくりに向けて実施